

1. 市民参加の目的

中心市街地ににぎわいを創出するための基本構想策定に向け市民参加により、利用者の視点から検討を進める

◎ 主な市民参加の取組み

- (1) 市民ワークショップ
- (2) 高校生グループインタビュー
- (3) みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会
- (4) その他（オープンハウス、パブリックコメントなど）

検討委員会の議論の進め方について

2. 市民ワークショップの目的

【対 象】

幅広い年代・立場の市民

【目 的】

- ・ 基本構想素案をもとに、自由な意見やアイデアを収集
- ・ 特に「にぎわいを生むためにどのような活動や使い方が望ましいか」を肉付け

【位置づけ】

検討委員会の議論を補完する

検討委員会の議論の進め方について

3. 高校生グループインタビュー

【対 象】

高校生（若い世代の利用者代表）

【目 的】

- ・若者の視点から、中心市街地に求められる機能や活動について意見を収集
- ・ワークショップや委員会では得にくい世代の声を反映

【位置づけ】

将来の利用者層の意見を把握する

検討委員会の議論の進め方について

4. みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会

【対 象】

各分野の有識者・関係者・市民代表

【目 的】

- ・市民ワークショップや高校生インタビューの成果を踏まえ、基本構想素案をバージョンアップ
- ・「施設の使い方」「必要な機能」「展開すべき事業」について整理し、市長への提言書にまとめる

【目指すべき方向性と議論の範囲】

- ・図書館、織物産業伝承施設、インキュベーション施設の3つの枠組みを複合施設の柱とする

検討委員会の議論の進め方について

5. 検討委員会の議論の進め方

- (1) 市民ワークショップ・高校生インタビューの成果を共有する
- (2) 各施設に求められる機能・使い方について意見交換する
- (3) (1)及び(2)を踏まえ、にぎわいのイメージを共有し、にぎわいを生むための事業展開や運営の方向性を整理する
- (4) 成果を「提言書」としてとりまとめ、市長へ提出する

市民参加の3つの取組は、いずれも「中心市街地のにぎわい創出」という同じ目標に向けて連携するものであり、検討委員会は、それぞれの成果を踏まえ、何が必要で、重要であるかを考え、実効性のある基本構想を提言することとする